

超高速交通網と接続する分散型拠点の設計と地域の持続的在り方 (東京大学共同研究)

◇ リニア中央新幹線岐阜県駅(仮称)や中央自動車道(仮称)神坂スマートインターチェンジなど、新たな交通網と中心市街地や地域の拠点を結び、**地域交通の維持向上や持続的に発展するまちづくりを進める**

地域課題

人口減少と高齢化の進展する中山間地域での持続的発展
各拠点の魅力向上に向けた取り組み
交通インフラの整備効果の最大化 (南北軸の機能強化)

目指す将来像

自動運転技術と新たな拠点の創出により、
「リニア等広域交通の整備効果を市内全域へ波及」と
「多拠点ネットワークによる集約型都市構造」の実現



面積: 676km² (73km²)
人口: 76,570人 (5,332人)

※()は、モデルとして
検討する付知地区
※令和2年 国勢調査

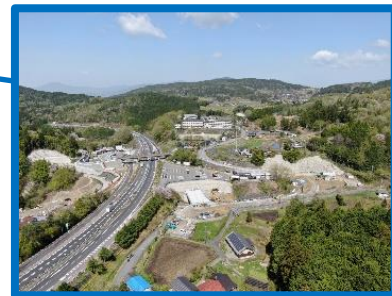
中山間地域 モデルとして検討する付知地区



飛騨・下呂など



広域交通拠点 (整備中)
リニア岐阜県駅 (仮称)



広域交通拠点 (整備中)
(仮称) 神坂スマートIC

名古屋
大阪など

東西軸 : リニア中央新幹線、JR中央本線、中央自動車道など

伊那・木曽
東京など

拠点創出・地域交通 付知地区における取り組み (東京大学共同研究)

付知地区の魅力・ポテンシャル

山

山に囲まれた美しい風景
山を生業の場としてきた歴史
林業・製材・木工

水

まちを貫く清流・付知川
観光名所・付知峡
受け継がれてきた用水
自然の水が生活の一部

街道

古くから飛騨へと続く街道
明治期には御嶽詣で繁盛
付知銀座のにぎわいの歴史

付知地区が抱える課題

人口減少・少子高齢化

公共交通の弱さ

賑わいの減少

地域コミュニティの維持

バイパスへと移るまちの重心

付知地区の新しい交通のコンセプト

広域交通 × 立ち寄り観光 (リニア岐阜県駅や馬籠宿と下呂温泉の中間を活かす)
地域交通 × コミュニティ (付知銀座に地域住民・観光客が集う拠点創出)

今回の 検討・実装

- 付知地区をモデルとして、
- ①自動運転技術の導入・運営
 - ②自動運転予約アプリ開発
 - ③拠点創出・運営

付知地区の新しい生活の形イメージ(例)

高齢者の暮らし

免許返納後も公共交通を利用して様々な移動が可能となり、交流が増える
リモートワークの若者の暮らし

普段は付知地域で生活しながら週数回の名古屋通勤も可能

高校生の暮らし

公共交通を利用して家族の送り迎えなしでも通学できる

観光客

リニア岐阜県駅からバスを乗り継ぎ、付知地域に立ち寄って下呂まで向かう

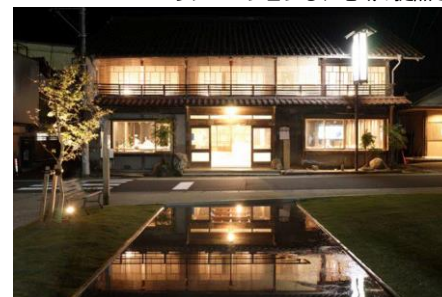
現在の検討状況



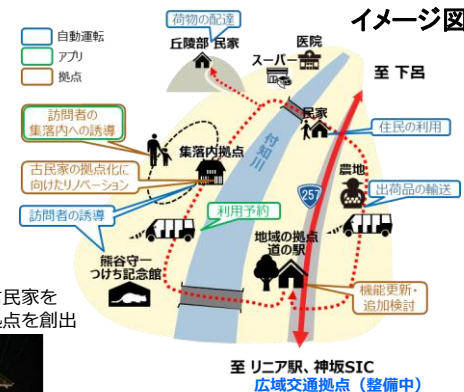
集落内拠点

付知地域デザインミュージアム

(令和4年10月開設) 明治8年創業の割烹料理の古民家をリノベーションし、地域の拠点を創出



付知川をイメージした水盤を整備した辻広場



地域ニーズを踏まえつつ、
①コミュニティバスの改善
②デマンドの強化
③自動運転化
などを検討していく



集落内交通 (三次交通)

旧街道を走行する
自動運転バス (検討中)

道の駅に
「ぎふ木遊館サテライト施設」を整備中
道の駅周辺の付知川で
「河川空間利用計画 (ミズベリング)」を推進中

地域の拠点

道の駅 花街道つけち

交通拠点機能強化
(検討中)



実験①【自動運転バス実証実験】

目的／ 道の駅と付知地域デザインミュージアムを結ぶ区間で自動運転バスを走行し、**走行環境整備を実施**した上で、**レベル4に向けた検証や分析**を行う

日程／ テスト走行期間：10月1日（火）～10月4日（金）、10月7日（月）
関係者試乗会：10月8日（火）
本番走行期間：**10月9日（水）～10月31日（木）**
運休日：13日（日）、月曜日、火曜日（15日を除く）

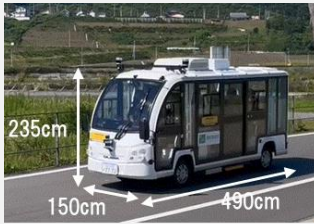
実験車両／ 自動運転車両 GSM8（最高速度19km/h）
※自動運転レベル2での運行

実験主体／ 中津川市

車両管理／ アイサンテクノロジー(株)

体験乗車モニター／ 乗車定員7人 運行便数**10便／日** 運賃：**無料**

予約方法／ 予約アプリ または 電話受付
電話受付：**NPO法人つけちスポーツクラブ**（0573-82-2005）



実験②【付知駆けつけバス（デマンド）実証実験】

目的／ 付知地区の運行エリアで自宅近くの停留所を活用し乗り合いデマンド運行を実施し、**移動手段の必要性、運行範囲の検証**を行う

日程／ 走行期間：**10月8日（火）～10月31日（木）**
運行日：定住推進課と調整の上実施

実験車両／ ヴォクシー または ハイエース

実験主体／ 中津川市

車両管理／ 中津川市、NPO法人つけちスポーツクラブ

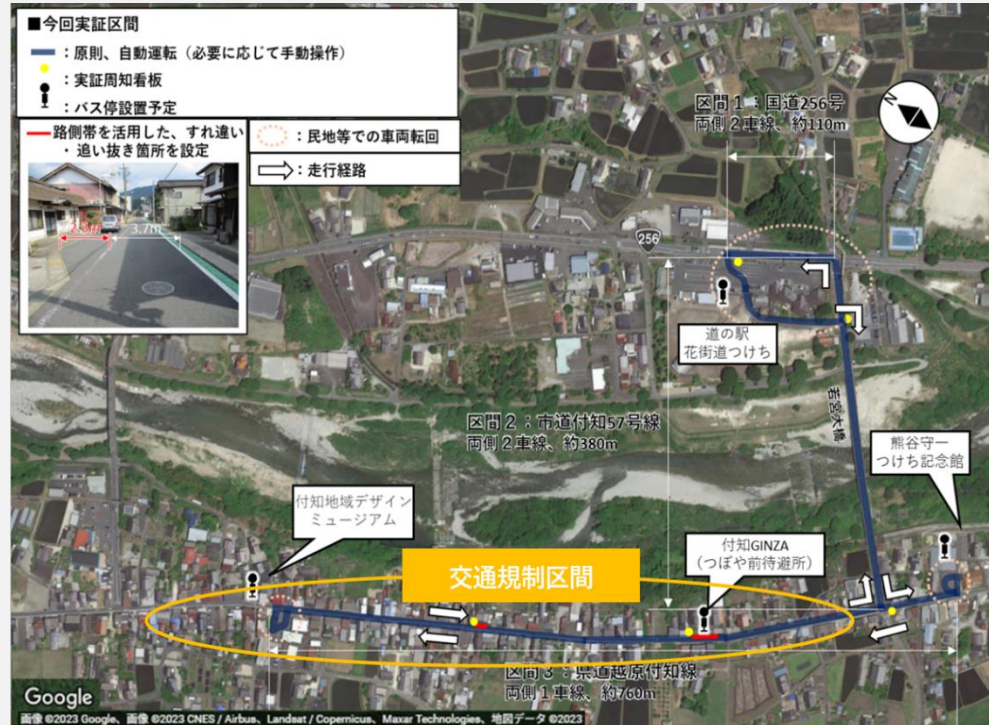
体験乗車モニター／ 乗車定員6～8人 運行便数**10便／日** 運賃：**無料**

予約方法／ 予約アプリ または 電話受付
電話受付：**NPO法人つけちスポーツクラブ**（0573-82-2005）

アンケートの実施／ 有



実験①【自動運転車両走行ルート等】



実験②【デマンド運行範囲】



令和5年度実証実験の結果を踏まえ、走行ルート、運営方法等の検証を行い、**中山間地域での自動運転車両の在り方**を検討する。